

古河電気工業 株式会社

ブラウザのみで利用できる認証システムで 社員の利便性向上と運用・管理コスト削減を実現

課題

-  導入済のハードウェアトークンは、海外展開及び故障時に即対応できない問題があった。
-  常にハードウェアトークンを持ち歩かねばならず利便性が低く、盗難・紛失のリスクがあった。
-  社員情報のメンテナンスを定期的に手動で行っており管理コストが負担であった。

効果

-  ブラウザのみの認証により、容易に海外展開でき、トークン故障による対応が不要になった。
-  トークンを持ち歩く必要がなくなり、利便性向上と盗難・紛失リスクがなくなった。
-  標準機能でID管理システムと連携させることができたため、社員情報のメンテナンスを効率化できた。

■導入時の課題

古河電気工業では2003年当時、海外赴任・出張者が安全に社内システムへアクセスできるようICT環境の整備に取り組んでおりました。導入済のハードウェアトークンでは、海外赴任者にトークンを配布するのに時間と輸送コストがかかり、また故障時に即対応できず、業務に支障がきたすことが想定され課題となっていました。また、数か月に一度、大幅な社員情報のメンテナンスが必要で、その運用負担も大きな課題となっていました。

■製品選定のポイント

国内だけでなく、海外赴任者も利用することから、運用・管理が容易であることが必須でした。数ある認証システムを検討した結果、SECUREMATRIXを採用。決め手は『海外赴任者への導入が容易で、管理コストが削減できること』『盗難・紛失のリスクがなくなったこと』『ユーザーの利便性が向上できること』の3点です。

■導入後の効果

セキュアに本人認証ができることはもちろん、狙いどおり、管理コスト・運用コストとも以前より大幅に削減され利便性も向上したことから、現場の多くの社員から大いに喜ばれました。その後、人事システム、経理システムなど多様な業務システムの認証に対応し、現在4,000名がSECUREMATRIXを利用しています。また、近年柔軟な働き方の実現のため、制度・環境整備に取り組み、テレワークを仕組みから支える本人認証システムとして活用の幅が広がっています。

お客さま
基本情報

古河電工

古河電気工業株式会社

「メタル」「ポリマー」「フォトニクス」「高周波」の4つの技術力を核として、インフラ、電装エレクトロニクス、機能製品の3つの事業セグメントにおいて、多岐にわたる製品を展開しています。世界シェアNo.1をはじめ、多くの事業領域で製品は社会に貢献しています。

本社所在地：東京都千代田区丸の内2-2-3
 設立：1896年6月25日
 従業員数：52,215名(連結)
 3,816名(単体)
 URL：<https://www.furukawa.co.jp/>



CSE

株式会社シー・エス・イー
<https://www.cseltd.co.jp/>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-1 A-PLACE渋谷金王
 TEL. 03-5469-6026 FAX. 03-5469-6037 E-mail. sales@cseltd.co.jp